

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初

事 項	県民文化会館管理運営委託等経費						予算主管課	文化振興課		
事 業 概 要	県民文化会館の指定管理及び事業に要する経費						始期	1986		
							終期			
K P I	県民文化会館の年間利用者数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	350000 人	目標値	500000 人	目標値	650000 人	目標値	700000 人
	実績値	193070 人	実績値	304900 人	実績値	317456 人	実績値	人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	87.1 %	達成率	63.5 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	295,238 千円	最終現計 予算額	398,647 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			269,454 千円	決算額	398,618 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因 ●メインホール、サブホール コロナ前(H30)と比較して、利用件数は同程度であるが利用人数が半減状態。要因は、ハイブリット開催普及による直接来場者数減のほか、著名アーティストのコンサート数等減。 ●真珠の間 R6から宴会受注を再開し、R5実績を大幅に上回ったが、コロナ前(H30)実績にはわずかに届かなかった。要因は、4～7月は前年度時点で既に予約が確定していたこと、宴会受注再開の周知期間が必要であったことによるものであるが、8月以降はH30を上回る利用人数となった。 ●会議室 コロナ前(H30)と比較して、4～6月の利用件数が大幅に減少。企業などによる新年度の社内向け説明会等の多くがWEB実施に移行したことによるもの。7月以降の利用件数はH30を上回っているが、利用人数が半減状態。ハイブリット開催普及による直接来場者が減少したことが要因。									
	総括									
見直し方向性	改善	・指定管理委託料上限の範囲内で、引き続き管理運営を実施。 ・文化の発信地となるためR6から開始した新たな取組みにより、引き続き「新しいケンブ」のイメージを定着させ利用人数増加を目指すほか、R8の開館40周年に向けては、世界的建築家丹下健三設計の重要な文化資産であるという点に改めてフォーカスすることで、県内でイベント、コンサート、会議を開催すること自体に価値を見出せるユニークベニューとしての魅力を強化し、利用人数増加を目指す。								

2

当初

事 項	生活文化センター管理委託費						予算主管課	文化振興課		
事 業 概 要	生活文化センターの指定管理及び事業に要する経費						始期	1976		
							終期			
K P I	生活文化センターの年間利用人数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	95000 人	目標値	110000 人	目標値	115000 人	目標値	120000 人
	実績値	81861 人	実績値	113690 人	実績値	107900 人	実績値	人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	119.67 %	達成率	98.1 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	60,430 千円	最終現計 予算額	25,949 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			39,268 千円	決算額	25,567 千円	決算額	千円	決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因 第1四半期までは前年度比増の傾向があったものの、猛暑により夏に利用控えが発生。その後、高齢化により活動規模を縮小した定期利用団体が複数発生したことから、和室や茶室の利用を中心に前年度比減となり、KPI目標もやや下回る結果となった。なお、前述の要因により全体としては前年度比減(目標未達成)となったが、研修室や会議室といった洋室の利用には増加傾向がみられる。									
	総括									
見直し方向性	維持	・指定管理施設であるため、引き続き委託上限額の範囲内で運営。(R6～R10) ・R6年度は、定期利用団体の高齢化による活動規模縮小が利用人数減に大きく影響したことから、その傾向が見え始めたR6年度途中から新規利用者の開拓に着手している。特に研修室等の洋室利用は増加傾向にあることから、企業の研修・会議利用や、大学のサークル活動利用を呼び掛けている。 ・目標達成のためには、減少分を補うだけでなく上乗せして利用者を増やす必要があるため、自主事業の活発化などをR7年度の事業計画に盛り込んでいる。								

3

当初	事 項	四国へんろ世界文化遺産推進事業費								予算主管課		まなび推進課				
事業概要	事 業 概 要	四国他県、関係団体と連携しながら、四国遍路の札所や遍路道、遍路文化の世界文化遺産登録に向けた取組みを行う。								始期		2009				
										終期		2026				
K P I	県内札所の史跡指定数	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
		R 4 年 度		目標値	8 件		目標値	9 件		目標値	10 件		目標値	13 件		
		実績値	7 件		実績値	8 件		実績値	9 件		実績値	件		実績値	件	
		ストック /フロー	ストック		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	28,491 千円		最終現計 予算額	42,599 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				23,123 千円		決算額	32,528 千円		決算額	千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、7年度以降も計画的に札所の調査を進めることとしていることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。													

4

当初	事 項	子ども芸術祭開催準備費										予算主管課		文化振興課	
	事 業 概 要	子どもの芸術を愛する心を育むとともに、健全な育成を図るため、東京藝術大学との包括連携協定を契機とし、令和7年度に開催する子ども芸術祭に向けた準備を進める。										始期		2016	
												終期		2025	
	K P I	WS等を通じて事業に関わった子どもの人数（経過指標）													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 3 年 度		目標値	137 人		目標値	191 人		目標値	人				
		実績値	98 人		実績値	343 人		実績値	220 人		実績値	人			
		ストック /フロー	フロー		達成率	250.4 %		達成率	115.2 %		達成率	%			
		コ ス ト			最終現計 予算額	4,594 千円		最終現計 予算額	4,568 千円		最終現計 予算額	千円			
	決算額				4,548 千円		決算額	4,565 千円		決算額	千円				
6 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	準備年からつながるWSを開催しており、作品募集にかかるWSも併せて実施したことで、確実に子ども芸術祭へ関わる子ども達が増加している。引き続き、令和7年度の本開催においてKPIの達成を目指し取り組んでいきたい。												

5

当初,2
月補正

事 項

美術館南館空調設備改修工事費

予算主管課

まなび推進課

事業
概 要

老朽化が進んでいる美術館南館の空調設備等の機能維持のため、改修工事を行う。

始期

2024

終期

2024

K P I

美術館南館空調設備改修工事進捗率

KPI種別

上がると良い指標

R 5 年 度

R 6 年 度

R 7 年 度

R 8 年 度

R 4 年 度

目標値

%

目標値

66 %

目標値

100 %

目標値

%

実績値

- %

実績値

%

実績値

100 %

実績値

%

実績値

%

ストック
/フロー

ストック

達成率

%

達成率

151.5 %

達成率

%

達成率

%

コ ス ト

最終現計
予算額

千円

最終現計
予算額

214,516 千円

最終現計
予算額

千円

最終現計
予算額

千円

決算額

千円

決算額

210,186 千円

決算額

千円

決算額

千円

6
年
度

要因分析

要因

総括

予定していた改修工事を問題なく完了することができた。

見直し方向性

6

当初

事 項	アートの森プロジェクト事業費							予算主管課		まなび推進課		
事 業 概 要	美術館において県産材を使用した額や看板等を新たに作成し、「森林」に関するテーマのコレクション展を開催する。							始期	2020			
								終期	2024			
K P I	アートの森コレクション展の観覧者数等											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	13000 人		目標値	15000 人		目標値	0 人		
	実績値	8056 人		実績値	4411 人		実績値	5708 人		実績値	人	
	ストック /フロー	フロー		達成率	33.93 %		達成率	38.1 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	1,254 千円		最終現計 予算額	2,700 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				1,248 千円		決算額	2,686 千円		決算額	千円		

6 年 度	要因分析	要因 コレクション展の観覧者数については、同時期に開催される企画展の動員力に左右されることが多いが、R6年度のアートの森コレクション展は、開催日のうちの3割程度を企画展の未開催時期に設定していたことなどにより、未達成となった。										
		総括										
6 年 度	見直し方向性	改善	7年度の執行から、コレクション展の内容の充実や周知方法の工夫等を図るとともに、観覧者の動員が見込まれる企画展等との連携を強化することとしている。									

9

当初	事 項	萬翠荘管理運営委託等経費						予算主管課	文化振興課	
	事 業 概 要	萬翠荘の指定管理及び事業に要する経費						始期	2009	
								終期		
K P I	萬翠荘の年間入館者数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度	目標値	85000 人	目標値	100000 人	目標値	105000 人	目標値	110000 人
	実績値	72674 人	実績値	88514 人	実績値	94139 人	実績値	人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	104.13 %	達成率	94.1 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	34,413 千円	最終現計 予算額	28,312 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
決算額			34,208 千円	決算額	28,135 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因 5月、8月、9月、2月以外は昨年度比増となったが、貸館利用以外で1階・2階両方を使うイベントを行った場合、純粋な萬翠荘観覧者の人数が減少する傾向があること、また、8月、9月は猛暑により観光客が減少したことから、目標未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	・R6年度に外国人観光客が急増したことから、R7年度からは、外国語表記のパンフレットの充実や外国人向け自主事業の検討など、インバウンドの受入れ環境整備と更なる集客に取り組む。 ・萬翠荘の認知度向上を目的に、施設の新しい活用方法を検討しており、R6年度に自主事業として実施したイマーシブシアターをR7年度も継続実施し定着を目指すほか、積極的なSNSでの発信により取組内容の周知を強化する。 ・周辺の文化施設と連携した事業も積極的に行うことで、R7年度のさらなる利用者増加を目指す。							

10

当初

事 項	県民総合文化祭開催事業費								予算主管課		文化振興課	
事 業 概 要	芸術文化から産業分野にわたる幅広いアマチュア文化の祭典「県民総合文化祭」を開催する。								始期		1988	
									終期			
K P I	県総合文化祭の参加人数											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	155000 人	目標値	160000 人	目標値	165000 人	目標値	170000 人	
	実績値	149904 人		実績値	63682 人	実績値	198923 人	実績値	人	実績値	人	
	ストック フロー	フロー		達成率	41.09 %	達成率	124.3 %	達成率	%	達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	38,984 千円	最終現計 予算額	39,215 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	38,079 千円	決算額	38,387 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6
年
度

要因分析	要因												
	総括												
見直し方向性	維持	例年多くの参加者が見込まれる総合フェスティバルなどの大規模イベントにおいて、他の個別イベントや主催団体をPRするプログラムを用意するなど、引き続き参加者数の増加に向けて工夫して参りたい。											

13

当初

事 項	子ども舞台芸術鑑賞体験支援事業費							予算主管課		文化振興課	
事 業 概 要	教育活動への支援策として、地域の伝統・文化や偉人等をテーマに通年で公演を行う「地域拠点型常設劇場」である「坊っちゃん劇場」に着目し、子どもの同劇場での鑑賞等を支援することで、子どもの学び・体験の場とするとともに、本県文化の振興を図る。							始期	2023		
								終期	2025		
K P I	郷土文化・偉人・舞台芸術に関心を持った子どもの人数										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度	目標値	24000 人	目標値	48000 人	目標値	72000 人	目標値	人	
	実績値	- 人	実績値	13362 人	実績値	24540 人	実績値	人	実績値	人	
	ストック / フロー	ストック	達成率	55.7 %	達成率	51.1 %	達成率	%	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	76,600 千円	最終現計 予算額	68,940 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
決算額			40,173 千円	決算額	68,937 千円	決算額	千円	決算額	千円		

6
年
度

要因分析	要因 新たに、観劇料の一部の支援を行うほか、早期の積極的な周知により事業利用者数の増加を図ったところ、昨年度と比べ増加し、劇場の公演について、一定の評価をいただいたが、遠方地域の学校の参加件数が地理的要因、時間的制約等の理由で少なく、目標達成には至らなかったと考えられる。	
	総括	
見直し方向性	改善	令和6年度は、観劇料を支援対象としたことなどから、昨年度と比べ利用者数の増加につながったが、目標には至らなかった。しかし、事業利用者を対象としたアンケートでは、約8割が「関心を持った」と回答するなど、本事業による効果は高いため、令和7年度の執行においてはさらなる事業利用者増加に向けた周知を行い、目標の達成に努める。

14

当初	事 項	えひめアートプロジェクト推進事業費								予算主管課		文化振興課	
	事 業 概 要	東京藝術大学との連携により、アートの力を活用した人材育成・交流や多彩なアートプロジェクトを企画・実践する「アートベンチャーエヒメ」を推進し、令和7年度に開催する芸術祭の準備等を通じ、人と人、人と地域がアートを介してつながる地域社会の形成を図る。								始期	2023		
										終期	2025		
	K P I	アートプロジェクトの参加者数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	人	目標値	100 人	目標値	人	目標値	人		
		実績値	- 人	実績値	人	実績値	131 人	実績値	人	実績値	人		
		ストック フロー	フロー	達成率	%	達成率	131 %	達成率	%	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	25,937 千円	最終現計 予算額	45,665 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円			
			決算額	25,929 千円	決算額	45,629 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	2025年度開催のアートベンチャーエヒメフェスでのKPI達成に向けて、適切に準備を進めているところであり、執行方法等の見直しは想定していない。										

15

当初

事 項	国際音楽交歓コンサート開催事業費							予算主管課		文化振興課		
事 業 概 要	海外で活躍するトップレベルの著名音楽家等を招へいし、クラシックコンサートを開催するとともに、学校訪問レッスンなどを行い、質の高い音楽芸術を学び、体験する機会を提供する。							始期		2024		
								終期		2024		
K P I	国際音楽交歓コンサート及び交流事業の参加者数											
	KPI種別	上がるとうい指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	人		目標値	1000 人		目標値	人	
	実績値	- 人		実績値	人		実績値	900 人		実績値	人	
	ストック フロー	フロー		達成率	%		達成率	90 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2,737 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				千円		決算額	2,448 千円		決算額	千円		

6
年
度

要因分析

要因

公演鑑賞申込は募集期間の前半で埋まり定員数1,000名の来場を予定していたが、実際の来場者が歩留まり850名にとどまったため。県内高校生の交流については、県立今治西高校の吹奏楽部・合唱部等の生徒50名と交流ができた。

総括

公演については、世界を舞台に活躍するトップレベルのアーティストの生演奏を聴ける機会として、県民から多くの申込があり、文化芸術に対する強い関心が伺えた。公演は今治市内の希望小中学校を招待したことで、普段クラシック音楽の生演奏等に触れる機会の少ない児童生徒へ良い機会を提供できた。

今治西高等学校との交流では、吹奏楽部及び合唱部等の生徒とアーティストが音楽と言葉で交流を行い、言葉を超える芸術の持つ力など、生徒にとって刺激の多い時間を提供した。

アンケート等を通じて県民のクラシックコンサート等への関心や期待値の高さが判明したため、令和10年度の国民文化祭のプログラムの1つとして組み込んでいくなど、更なる文化芸術に触れる機会を引き続き創出していく。

見直し方向性

16

当初	事 項	文化活動推進費						予算主管課		文化振興課			
	事 業 概 要	文化団体を顕彰するとともに、「中四国文化の集い」に文化団体を派遣する。						始期		1992			
								終期					
	K P I	文化活動に対する愛媛県の後援承認件数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	160 件		目標値	160 件		目標値	160 件		
		実績値	163 件		実績値	186 件		実績値	186 件		実績値	件	
		ストック /フロー	フロー		達成率	116.25 %		達成率	116.3 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	918 千円		最終現計 予算額	782 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	785 千円		決算額	682 千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、現状のニーズを踏まえると、7年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。										

